



平成18年9月22日

各位

会社名 株式会社マースエンジニアリング
 代表者名 代表取締役社長 松波 明宏
 (コード番号 6419 東証第1部)
 問合わせ先 執行役員経理部長 佐藤 敏昭
 電話番号 03 - 3352 - 8555

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月15日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

<連結> (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	19,482	5,037	2,762
今回修正予想(B)	12,736	2,113	1,094
増減額(B-A)	6,746	2,924	1,668
増減率(%)	34.6	58.1	60.4
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	16,729	4,407	1,905

<単体> (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	16,000	4,010	2,360
今回修正予想(B)	9,254	1,138	615
増減額(B-A)	6,746	2,872	1,745
増減率(%)	42.2	71.6	73.9
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	13,614	3,173	1,273

2. 平成19年3月期通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

<連結> (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	40,421	10,921	5,839
今回修正予想(B)	28,921	6,005	3,242
増減額(B-A)	11,500	4,916	2,597
増減率(%)	28.5	45.0	44.5
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	33,703	8,586	4,353

< 単体 >		(単位 : 百万円、 %)	
	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	33,000	8,250	4,416
今 回 修 正 予 想 (B)	21,500	3,263	1,846
増 減 額 (B - A)	11,500	4,987	2,570
増 減 率 (%)	34.8	60.4	58.2
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	27,293	5,940	2,962

3 . 修正の理由

当パチンコ業界におきましては、一部の遊技ファンに支えられながらも遊技人口は最盛期と比較して大幅に減退しており、その影響によりホール軒数は10年連続で減少を続けておりません。

当中間期におきましては、検定または認定の有効期限の切れた遊技機の撤去に伴い、多くのホールではそれに代わる遊技機の入替を積極的に行い、遊技機に対し多額の設備投資を行ったため、周辺機器に対する設備投資は先送りとなりました。また、業界における先行き不透明感から多くのホールが新規出店計画や改装計画を見合わせたことにより、数少ない商談に競合他社が集中し、価格競争が激化した結果、期初の中間予想を下回る見通しとなりました。

また、下期におきましても中間期と同様、ホールの周辺機器に対する設備投資が慎重になる傾向は続くものと予想されることから、期初の通期予想を見直し修正いたしました。

新規出店計画や改装計画に合わせての導入が見込まれるパーソナルPCシステムは、ホール業務、ホール環境、経費削減を実現可能にした画期的なシステムであり、積極的に販売してまいりました。中間期において期初予想の導入店舗数は未達の見込みとなりましたが、当システムを導入していただいたホールからは、通常必要とされる半分以上の従業員でホール運営が可能となり、今まで以上のお客様サービスを提供できるシステムとして高い評価を得ております。

例年、周辺機器の設備投資が見込まれる年末商戦に向けて既に内覧会を実施しており、パーソナルPCシステムの導入効果及び完成度の高さを評価いただきました。今後、パーソナルPCシステムが業界の新しい標準となるべく全社一丸となって拡販に努めてまいります。

なお、今回の業績修正による配当予想の修正はございません。

(注) 1 . 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等につきましては業況の変化等により上記業績予想数値とは異なる場合がありますので、ご承知おき下さい。

2 . 平成 19 年 3 月期中間の業績につきましては平成 18 年 11 月 20 日に公表する予定であります。

以 上